

## ELECTRIC GUITAR AND BASS FEATURES BODY

選ばれた素材より削り出され、全てのフェンダーのボディは楽器の音色を最も重要な真骨頂です。ア



ッシュとか、アルダーとかソリッド・アメリカン・ウォルナットとかの素晴らしい木材は、それらどしどしの異なるボディの品質により選ばれます。

## Bridges

フェンダーが各弦に対する独立したブリッジセクションという概念を確立しました。個々の高さ調節は楽なセッティングの際、プレイヤーの厳密な選択に答えてくれます。各々の弦の長さの調節は、空弦のあらゆる

調と丈夫なフィニッシュを特徴とし、多種なスタンダード・カラーの中から選択できます。これに付け加えて、モデルはオプションで、カスタム・フィニッシュも選択できます。より詳しいことにつきましては、各々のモデルの仕様を参照して下さい。

、そして世界中で数多く模倣されているのは、ネックとヘッドストックのデザインでしょう。独特の外観、独自の演奏性、そして独自の正確さと調節の容易さ等、ネックはフェンダーがフェンダーたる大きな重要な部分を占めています。

**Adjustable Truss Rod**  
極めて重要なフェンダーの特徴は、ネック全体に強いスチール・ロッドが通っていることです。ネックの中で調整力を強く結合させ、反力の方向に調整力を供給することにより、弦の緊張を反作用により中和いたします。トラスロッドを少し調整する



だけで、弦のゲージ交換とか、時間によるネックのブレイを正常に復元します。

## Detachable Neck

もうひとつのフェンダーの革新、ダタッチャブル・ネックは、演奏性、保守性に重要な意思をもたらしました。ネックのデザインは、伝統的なビルド部分を除去し、最も高いフレットの板を最も簡単にさせました。ネックは、4本の大きなネジで



ボディに固く取り付けられ、もし希望するならばネックの高さや角度を簡単な作業で変更することができます。もっと有利なことは、ネック不調の事故によりダメージを受けた時、簡単に取りはずせるということです。

る範囲における正確なイントネーションを確実にします。ボディと弦の間の理想的結合は、サステインを最大限に生かします。

## Finishes

全てのフェンダー製品は、高質の光

## Left-Handed Models

テレキャスター、ストラトキャスター、プレジジョン・ベース、そしてジャズベースは、レフトハンドモデルが用意されています。



## NECK

おなじく、数多いフェンダーギターの特徴の中で、最高のオリジナル



**Frets**  
フェンダーの伝統的な（同じくらい演奏の仕易さは、狭くとりつけられたフレットによるところが大でありませぬ。このフレットは、ニッケルメッキでできており、人念に取り付けられ、細の順なスムーズさになるまで研削されています。

## Straight String Pull

フェンダーは、ヘッドストックの片側に沿って走っているチューニングマシンを取り付けたという概念を一般的なものとした。ギターのチューニング、巻きがより簡単になったことに加え、この方法は、各々の弦がすべて、まっすぐに進むということを可能にしています。

## String Retainers

新しいフェンダーのギターは、1〜4弦のリタイナーを組み込んでいます。ナットのそばでしっかりと弦を押えることによって、共振を防ぎ、サステインを最大限に引き出します。

## Tuning Machines

フェンダーのチューニングマシンは、操作し易く、すべらないのが特徴です。切り込まれたポストギアインは、非常に巻き巻きを容易にし、鋭く上がった弦の先の危険を除去します。



## ELECTRONICS

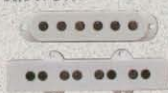
フェンダーギターは、純粋にアンプを通して演奏する音楽のために、デザインされたので、それ以外の注意が、ピックアップ・トーン・コントロール、そして他の全ての電気部品のアデザインに払われました。ピッキングのフェンダーギターに対する。聴えたい音は、フェンダーの初期のアデザイン決定が、非常に正しかったというこの証明に他ありません。しかし、このカタログのすみずみまで見ていただければわかりますが、技術の進歩は、現在の種々のモデルのステレオシステムにおいて、数多くの改良を可能にしているということがおわかりになると思います。

## Pickups

ピックアップのデザイン及び製造という今までのテーマを取りまくものには、魔法の強い「オーラ」の秘めたるものがあるは事実ですが、現代の電気理論は、ギターのピックアップに関して含まれている全ての要因及び不必要なものを理解することを可能にしています。主として、新しい科学は、フェンダーの初期の「test-and-try」による進化の成果を確かなものとしています。私たちは今でも、シングルコイル・ピックアップのコンビネーションが、全てのプレイヤーにとって最も多面性に使えるセットアップであると信じています。し

かし、ハンパッカーの独自のサウンドを好むギタリストのためには、私たちは、リード1、リード2で得られる最高のハンパッキングピックアップを設計しています。

重要な事実は、ピックアップのデザインに魔法のような一定の法則はない、ということ。ひとつの点を改訂すると、他の何かが犠牲になります。例えばピックアップをよりホットに作ることは、何の損もなくできます。しかし、その過程において、高い周波数のレスポンスは、犠牲にされてしまうでしょう（そしてたぶん、サステインも同様）に私たちは新しいフェンダーのピックアップが可能な限り、最高の独自のコンビネーションを再び与えたいと信じています。



## Pickup Switching

フェンダーピックアップのスイッチは、トーンの可能性の量はすべからず、イデ・レンジを幅広く表現する様に設計されています。いくつかのモデルは、9種類以上の異なるピックアップのコンビネーションが得られます。いくつかのハンパッキングを装着したモデルはピックアップの両方のコイルの別々のスイッチングが、直列、並列の選択と同様に可能にしています。ここに、全てのフェンダーギターにおいて興った音が得られる全ての世界があるのです。

